

# 区医だより

発行●浪速区医師会 編集●広報部

## 巻 頭 言

はじめまして、  
福永クリニックの福永真也です。

福 永 真 也

(福永クリニック 院長)

本年1月より父の跡を継いで、A会員となりました。せっかくこのような機会をいただきましたので、今回は自分の自己紹介をさせていただきます。

自分は前院長の次男として和歌山県の古座川町というところで生まれました。ほとんど憶えていませんが、とてつもない田舎で近くの魚屋さんで普通にマグロの解体ショーを時々見ていた記憶があります。その頃はマグロが大好きで、その後引っ越しした後はマグロの味に慣れず、大好きだったマグロを食べることが出来なかったほどです。そんな大自然で健康に育ててもらっていましたが、父の転勤の影響などで大阪に、その後奈良に引っ越すことになりました。幼少期は両親の愛情？に恵まれ、すくすくと体も育っていき、小学校6年生ではウエストが今と変わらないほどでコロコロでした。こう見えても成績はまずまずでしたが、体育はいつも散々たる結果でした。

その後奈良学園という、中高一貫の男子校に進学しました。中学時代は、コロコロの体で出来るスポーツと考え卓球部に所属しましたが、これが非常にしんどくてどんどん体重が落ちていく結果となりました。その後高校で思春期を迎え男子校の自分としては、一日

の内9割が異性への思いとなることとなり、失礼な言い方ですが卓球部ではと考え、野球部に所属することとなりました。奈良学園には軟式野球部しかなく、県大会で準優勝しましたが全部で5校しかなく、あまり自慢は出来る成績ではなかったです。それでも、青春を軟式野球と異性への念に捧げた3年間でありました。

大学は関西医科大学に進学いたしました。大学時代は、ラグビー部とフォークソング部に所属しておりました。ラグビーは昔から憧れていたスポーツで、自分の行っていた高校にはクラブがなかったため、やっと出来ると嬉しくなって入部したものです。しかし入ってみるとかなりハードであり、また優しい？先輩方のシゴキ、いや愛情で初めは入部を後悔したものでした。しかしこのクラブほど深い結びつきのクラブは無いと思えるほど、徐々に嵌っていきました。あんなにたかがスポーツの試合前後で泣けることは、今までなかったと思います。フォークソング部では、MCでのしゃべりのみで、ボーカルをやっていました。歌は全然でしたが、ウケれば良い



という考えでステージに立ったものです。大学時代はその他にクラス代表の仕事や学祭の仕事など充実した学生時代を過ごしました。まあそのおかげで、あの合格率80%を超える国家試験では見事に落第し、一年間は必死に勉強することとなるのですが、とにかく楽しい大学時代でした。

大学を卒業して、関西医大の第二外科教室に入局しました。その後、関西医大の枚方移転を機に、大阪市立大学の消化器外科に入局し、父の病気を機にこの度クリニックを継承することとなりました。まだまだ若輩ものであり、今のところ自分のクリニックで精一杯でしてなかなか医師会への活動も参加出来ておりませんが、今後医師会への活動にも関わらしていただきたいと考えております。諸先輩方の指導をお願いすることも多々あるかと存じますが、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



## 理事会報告



◎平成24年度 6月第1回定例理事会

日 時 平成24年6月8日〈金〉

午後2時～2時50分

場 所 浪速区医師会 会議室

### 協議事項

1. わかこうかいクリニックの管理医師交代（6月1日付）について <佐久間会長>  
川合秀治医師（平成21年10月1日就任）から城村尚登医師へ交代すること。  
管理医師交代に伴う入会金について協議願いたい。

入会金規程第1条第2項に則り協議をし、管理医師交代に伴う入会金を決定した。

2. 医療情報委員会の開催について  
<金田理事>  
開催日程を決めたい。

協議の結果、次のとおり決定。  
日時 6月15日（金）午後7時30分  
場所 浪速区医師会 会議室

3. その他  
(1)浪速区三師会の開催について  
<徳田理事>  
開催日程を決めたい。

協議の結果、9月1日（土）に決定。  
なお、場所、時間については未定。

### 報告事項

1. 郡市区等医師会長協議会について（5月25日〈金〉） <佐久間会長>  
次第は次のとおり。

- ▷ 開会
- ▷ 会長挨拶
- ▷ 郡市区等医師会新会長紹介
- ▷ 報告事項
- (1)新公益法人制度において本会が移行する法人形態の件
- ▷ 連絡事項
- (1)大阪府医師会第69回臨時総会に関する件
- (2)大阪府内特別支援学校において喀痰吸引等を実施するための指示書の発行に関する協力および周知依頼の件
- (3)MRワクチンの接種率の向上に向けた取り組み推進の件
- (4)6月度行事・会合日程の件
- ▷ 協議
- ▷ その他
- (1)在宅医療連携拠点事業の公募に関する件
- ▷ 閉会

(詳細 略)

## 2. 大阪市医師会連合会委員会について

(5月21日〈月〉) <佐久間会長>  
次第は次のとおり。

- ▷ 連絡事項
- (1)大阪市内医師会公衆衛生事業活動補助金の件
- (2)「認知症等高齢者支援地域連携事業」大阪市内各医師会への委託の件
- (3)平成24年度大阪市結核対策特別促進事業に関する件
- (4)医療機関等登録制度及び医療機関等の新規指定基準等の設定(西成区における施行実施)の件
- (5)その他
- ▷ 報告事項

- (1)大阪市地域密着型サービス運営委員会(4月24日)報告の件
- ▷ 協議事項
- (1)大阪市幹部との懇談(時期は未定、正・副会長出席)について
- (2)その他

(詳細 略)

## 3. 大阪府医師会臨時代議員会について

(5月31日〈木〉) <佐久間会長>  
次第は次のとおり。

- ▷ 選挙
- ▷ 議事
- 第1号議案 公益法人制度改革に伴う大阪府医師会法人移行形態(非営利徹底型一般社団法人)に関し承認を求める件

以上の結果、選挙は定数どおりであったため、無投票で当選と決定し、議事は提案どおり可決決定した。

## 4. 浪速区医師会定時総会について

(5月26日〈土〉) <徳田理事>  
会員163名のうち、本人出席が17名、委任状提出者数は132名、計149名で会議は成立。

23年度の事業報告が了承されたあと、第1～3号議案について審議。すべて異議なく承認された。

## 5. 産業医部会委員会について

(6月6日〈水〉) <金田理事>  
次第は次のとおり。

- ▷ 開会
- ▷ 挨拶
- ▷ 平成23年度事業報告に関する件
- ▷ 平成24年度事業計画に関する件
- ▷ 役員選出に関する件
- ▷ その他

(詳細 略)

## 6. その他

なし。



## ◎平成24年度6月第2回定例理事会

日時 平成24年6月22日〈金〉

午後8時～9時45分

場所 浪速区医師会 会議室

## 協議事項

### 1. 本会メーリングリストについて

＜有田副会長＞

現在、メーリングリスト契約費用は個人的(有田副会長)に負担しているが、今後は医師会で負担することにしたい。  
詳細は次のとおり。

社名 有限会社ビクトリーセブン

「MLIST」

費用 スモールプラン 20名まで

月額 420円(税込)

ノーマルプラン 200名まで

月額 609円(税込)

特色 広告が入らないメーリングリスト

協議の結果、了承。メーリングリスト  
を利用し、会員同士の情報交換を活発  
に行い、様々な情報共有を進めていく  
こととする。

### 2. 今年度移動理事会の開催について

＜徳田理事＞

開催日程を決めたい。

協議の結果、次のとおりに決定。

日時 8月25日(土) 17時～理事会

18時～懇親会

場所は、日航ホテル大阪の予定。

### 3. 浪速区三師会の出席者、開催場所について

＜徳田理事＞

標記について決めたい。

協議の結果、次のとおりに決定。

日時 9月8日(土) 午後6時

場所 天王殿

おって、歯科医師会、薬剤師会に日程の  
確認をする。

### 4. 今年度健康展のテーマ等について

＜落合理事＞

資料に基づき検討、テーマ等は次のとお  
りに決定。

## テーマ

- ・メタボリックシンドロームと血管障害
- ・皆保険
- ・病診連携

なお、今年度より開催場所が浪速スポー  
ツセンターから浪速区民センターへ変更  
となった。

### 5. ブルーカードアプリのバージョンアップ に係る契約について

＜久保田理事＞

資料に基づき検討、提案どおり了承。

バージョンアップの内容は、ios 5.1に適  
応させるための作業、jpge 画像保存に適  
応させるための作業である。

### 6. 公益社団法人浪速納税協会の入会について

＜木田理事＞

現在、本会からの加入数は、法人会員が  
10名、個人会員が18名である。本協会  
への入会勧奨について協議願いたい。

協議の結果、新入会の会員に案内パン  
フレットを渡すことに決定。

### 7. 今年度レクリエーションの開催について

＜岡藤理事＞

開催日程を決めたい。

協議の結果、10月27日(土)に決定。

なお、場所等詳細については未定。

### 8. その他

#### (1) 職員の夏期賞与について

例年通りに決定。

## 報告事項

### 1. 郡市区等医師会長協議会について

(6月22日(金))

＜佐久間会長＞

次第は次のとおり。

▷ 開会

▷ 会長挨拶

▷ 郡市区等医師会新会長紹介

▷ 連絡事項

- (1) 今夏の電力確保対策の件
  - (2) 大阪府が考える「がん診療ネットワーク」の件
  - (3) 平成24年度母体保護法指定医師の指定更新手続きの件
  - (4) 平成24年度集团的個別指導の件
  - (5) 平成24年度会員名簿作成の件
  - (6) 不活化ポリオワクチン導入の件
  - (7) 大阪マラソン開催にかかる医師派遣の件
  - (8) 7月度行事・会合日程の件
- ▷ 協議  
▷ 閉会

(詳細 略)

## 2. 大阪市医師会連合会委員会について

(6月18日〈月〉) <佐久間会長>

次第は次のとおり。

▷ 連絡事項

- (1) 新委員紹介【委員、副委員、評議員の異動報告】の件
- (2) 西成区の生活保護受給者への医療扶助適正化指導のために通院医療機関等を確認する制度要綱案の件
- (3) 大阪市における不活化ポリオワクチン導入の件

▷ 協議事項

- (1) 大阪市麻しん対策会議への出席の件
- (2) 平成23年度歳入歳出決算の件
- (3) その他

(詳細 略)

## 3. 第7回開放型病院登録医総会・第10回愛染橋病院病診連携の会について

(6月16日〈土〉) <佐久間会長>

スイスホテル南海大阪にて開催された。

次第は次のとおり。

▷ 開放型病院登録医総会

▷ 第10回愛染橋病院病診連携の会

一般演題 「小児の腸管感染症とその合併症」

愛染橋病院小児科

部長 塩見 正司 先生

特別講演 「脂質異常症管理 up to date」

国立循環器病研究センター

糖尿病・代謝内科

医長 槇野 久士 先生

(詳細 略)

## 4. 浪速区健康展実行委員会について

(6月11日〈月〉) <澤井副会長>

次第は次のとおり。

▷ 出展内容

▷ 第28回収支決算及び第29回収支予算(案)について

▷ 協賛金の依頼について

▷ 広報について

▷ 必要物品等について

▷ 照会事項

(詳細 略)

## 5. 法円坂地域医療フォーラムについて

(6月16日〈土〉) <有田副会長>

シティプラザ大阪にて開催された。

次第は次のとおり。

▷ テーマ「がん治療の最前線から在宅へ」

▷ 第一部 学術講演

▷ 第二部 大阪医療センターの取り組み

▷ 第三部 特別講演 「在宅緩和ケアの実際(病診連携・診診連携)」

大阪北ホームケアクリニック

院長 白山 宏人 先生

(詳細 略)

## 6. 労災部会委員会について(6月15日〈金〉)

<原田理事>

次第は次のとおり。

▷ 開会

▷ 挨拶

▷ 来賓挨拶

▷ 議事

(1) 郡市区医師会長推薦による委員及び部会役員の選出について

(2) 労災診療費算定基準の一部改定について

(3) 平成23年度労災部会事業報告について

(4) 日本医師会「労災・自賠責委員会」報告

- 
- について  
(5) 労災保険情報センター(RIC)について  
(6) 平成24年度労災部会事業計画について  
(7) その他  
▷ 閉会  
(詳細 略)
7. 浪速区地域包括支援センター運営協議会について(6月6日〈水〉) <橋村理事>  
次第は次のとおり。  
▷ あいさつ  
▷ 委員、事務局の紹介  
▷ 議題  
(1) 平成23年度浪速区地域包括支援センター運営状況について  
(2) 平成24年度浪速区地域包括支援センター事業計画について  
(3) 平成23年浪速区地域包括支援センター自己評価票について  
(4) 浪速地域在宅サービスステーションについて  
(5) 日本橋地域在宅サービスステーションについて  
(6) 難波地域在宅サービスステーションについて  
(詳細 略)
8. 郡市区等医師会学校保健担当理事連絡協議会について  
(5月17日〈木〉) <川田理事>  
次第は次のとおり。  
▷ 開会  
▷ 挨拶  
▷ 報告事項  
(1) 平成23年度会務報告に関する件  
(2) 学校保健安全法施行規則改正の件  
(3) MRワクチンの接種率向上への取り組みの推進について  
(4) その他  
▷ 協議事項  
(1) 平成24年度学校医部会事業計画の件  
(2) ブロック別部会常任委員会委員推薦の件  
(3) その他  
▷ 閉会  
(詳細 略)
9. 医療問題研究委員会について  
(6月13日〈水〉) <富永理事>  
次第は次のとおり。  
▷ 開会  
▷ 委員ならびに役員紹介  
▷ 講演「日本の医療を振りかえる」  
大阪府医師会長 伯井俊明  
▷ 意見交換  
▷ 次回の予定  
▷ 閉会  
(詳細 略)
10. 病診連携委員会について  
(5月28日〈月〉) <金田理事>  
次第は次のとおり。  
▷ 第31回病診連携委員会報告について  
▷ ブルーカード事例検討等連携病院からの報告について  
▷ 病診連携委員会のアンケート結果について  
▷ 大阪警察病院の連携病院参加について  
▷ 2次連携病院のあり方について  
▷ その他  
(詳細 略)
11. 医療情報委員会について  
(6月15日〈金〉) <金田理事>  
次第は次のとおり。  
▷ 現在の浪速区医師会ホームページについて  
(1) 改修すべき内容はないか?  
(2) 新しく掲載すべき内容、中止すべき内容はないか?  
(3) その他  
▷ 今後の浪速区医師会ホームページの在り方について  
(1) 会員向け情報の充実について  
(2) メーリングリストの有効活用について  
(3) その他  
▷ 未来医療戦略会議について
-



- (1) 日程について
- (2) 予定の講演について
- (3) 予定の議案について
- (4) その他
- ▷ その他

(詳細 略)

## 12. その他 なし。

次回会議 平成24年7月13日(金)午後2時～

## 6月度 学術講演会報告 学術担当理事 富永 良子

日 時 6月23日(土) 午後2時  
演 題 「持続血糖モニター(CGM)による  
DPP 4—阻害剤の有効性の評価」  
講 師 大阪市立大学 大学院医学研究科  
代謝内分泌病態内科学  
講師 森 克仁 先生  
出席者数 23名  
共 催 ノバルティスファーマ株式会社  
情報提供 ノバルティスファーマ(株) 最新  
製品情報  
担 当 富永良子

糖尿病治療の目的は血管性合併症を防ぐこと  
で、血糖コントロールの目標値はHbA1c  
JDS値6.5%未満、NGSP値6.9%未満である。

デンプンの消化・分解は多糖類のアミロペ  
クチン、アミロースがアミラーゼを介し、二  
糖類の麦芽糖になり、マルターゼを介しブ  
ドウ糖になって、消化管から吸収される。消化  
管から吸収されたグルコースは解糖系の  
TCAサイクルでATPを産生する。

血糖値は、消化管からの糖質の吸収、肝臓

からの糖の放出、肝臓や腎臓からの糖新生、  
骨格筋や脳の糖の利用、またインスリンや各  
種拮抗ホルモン(グルカゴン、糖質コルチコ  
イド、エピネフリン、成長ホルモン等)によ  
り規定されている。

インスリンは夜間を含めた食事をしない時  
間帯においても一定濃度で持続的に分泌され  
ており、主として肝臓からのブドウ糖の放出  
を調整している。これを基礎分泌という。ま  
た、食事のたびに急峻に分泌され(追加分泌)、  
消化吸収されたブドウ糖が速やかに毛細血管  
から細胞内に取り込まれる。

糖尿病は、インスリンの作用不足によって  
高血糖状態が持続する代謝疾患である。  
膵β細胞が破壊され、インスリンがなくなり  
絶対的インスリン分泌不全状態になり高血糖  
を生じるのが1型糖尿病である。2型糖尿病  
では、インスリン抵抗性やインスリン分泌低  
下によりインスリン作用不足の状態に陥る。  
インスリンの作用不足は、膵β細胞からのイン  
スリン分泌の低下とインスリンの標的組織  
における作用の障害(インスリン抵抗性)によ  
ってもたらされる。インスリン抵抗性とはイン  
スリンが存在するにもかかわらず期待され  
るほどのインスリン作用が発揮されない状態  
である。

インスリンやCペプチドの測定は、個々の  
症例のインスリン抵抗性や分泌不全の病態の  
把握に役立つ。インスリン分泌能の検査はイン  
スリン分泌指数血中・尿中CペプチドCペ  
プチドインデックスHOMA-βがある。イン  
スリン抵抗性の検査は空腹時インスリン値  
(FIRI)HOMA-Rがある。

2型糖尿病の治療には、病態に合わせた経  
口血糖降下薬を選択する。

インスリン抵抗性増大であれば、インスリン  
抵抗性改善系であるビアグナイド薬、チアゾ  
リジン薬を用いる。インスリン分泌能低下に  
はインスリン分泌促進系のDDP-4 阻害剤、  
スルホニル尿素薬、速効型インスリン分泌促  
進薬を用いる。食後高血糖や空腹時高血糖は  
食後高血糖改善系である速効型インスリン分

泌促進薬と  $\alpha$ -グルコシダーゼ阻害薬を用いる。

#### DDP-4 阻害剤について

インクレチンとは、栄養素の摂取により消化管から分泌され、グルコース依存的にインスリン分泌を促進する消化管ホルモンの総称である。GIP-1 (glucagon-like peptide-1) と GIP (gastric inhibitory polypeptide) は代表的なインクレチンである。

2 型糖尿病患者におけるインクレチン作用は低下していることが報告されている。2 型糖尿病患者に GIP と GLP-1 を経静脈的に投与した際のインスリンを比較した報告では、GLP-1 はインクレチンとしてのインスリン分泌作用を維持していたが、GIP では消失していた。しかし、GLP-1 は血中や血管内皮に存在する DPP-4 (dipeptidyl peptidase-4) によって速やかに分解される。

DDP-4 阻害剤は、グルコース依存的にインスリン分泌を促進するとともに、グルカゴン分泌抑制を介して主に肝臓からの糖新生を抑制することから、空腹時高血糖のみならず食後高血糖の改善作用が期待される。

#### CGM (Continuous glucose monitoring) 持続血糖モニター

CGM は皮下組織に穿刺し留置したセンサーにより、間質液中のグルコースを 5 分毎、3 日間連続的に測定する。刺入時に疼痛あり。CGM の測定している間質液中のグルコース濃度はほぼ血糖値に近似するように補正される。

GCM を用いることにより、これまでみることができなかった食後の血糖変動あるいは日内血糖変動幅や夜間、深夜の血糖の動きといった、24 時間の血糖の連続的な変動をとらえることができる。食後高血糖が動脈硬化を促進するひとつの因子であることをふまえると、心血管疾患の発症阻止を見据えた今後の糖尿病診療においては血糖変動を考慮することが重要であり、GCM はそのための有用な評価手段である。

#### GCM を用いた DDP-4 阻害剤の使用例 症例供覧

1、66 歳、肥満あり。メトホルミン使用し HbA1c 7 %、食後血糖 200mg/dl 以上。昼、夕にシタグリプチンを追加した。血糖日内変動を減少させ安定した血糖値を維持できた。

2、高齢者 慢性腎不全患者。

高齢者の特徴として肝腎機能の低下、自律神経障害、認知症の合併がある。加齢により CKD 患者は増加している。65 歳以上の男性で 30%、女性の 40% が CKD であるという。

腎不全により薬物代謝遅延し、代謝産物の蓄積により予期しない過度の効果が出現する。

これにより低血糖が引き起される。低血糖により、凝固異常、致死的不整脈、内皮機能不全が出現する。

75 歳以上の 2 型糖尿病に対すビルダグリプチン 50mg 1 日 2 回 単独投与例では低血糖がまったく起こらなかった。

3、透析患者へビルダグリプチンを投与

46 歳男性 HbA1c 6.3%

透析患者の血糖コントロールにおいて使用できる内服薬は少ないが、2010 年より使用可能となった DDP-4 阻害剤のビルダグリプチンは、減量の上、透析患者にも使用可能である。

CGM を使用して、非透析日、透析日、非透析日 (合計 72 時間) の血糖変動を観察した。ビルダグリプチン 50mg を 2 日目より開始した。内服開始後、1 日の平均血糖値・最高血糖値ともに 20mg/dl ほどの低下を認め、有用な治療手段であると考えられた。



## 8月度学術講演会のお知らせ

8月の浪速区医師会講演会はお休みです。  
次回、多数の先生方の参加をお待ちいたします。

### 浪速区認知症ミーティングのご案内

日時 9月1日(土) 午後4時30分～6時  
場所 浪速区医師会館 2階 会議室  
主催 ノバルティス ファーマ株式会社  
演題 『アルツハイマー病の診断と  
中核症状に対する薬物療法』  
座長 有田医院 院長 有田 繁広 先生  
演者 近畿大学医学部附属病院  
メンタルヘルス科  
講師 花田 一志 先生



## 浪速区医師会 活動の伝言板

平成24年8月の各業務の出務予定は次のとおりです。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

### 三歳児健診

●保健福祉センター  
8月23日(木) 午後1時40分～3時30分  
眼科 澤井 貞子  
耳鼻科 大野 聡史

### BCG接種

●保健福祉センター  
8月16日(木) 午後2時～3時30分  
池田良彦・有田 繁広

### 急病診療所出務

●中央急病診療所  
8月16日(木) 深夜22:00～30:00  
藤吉 理夫

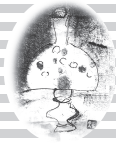
### 浪速区医師会クラブ活動案内

各クラブ活動は下記日程で行っております。  
多数のみなさま方の参加をお待ちしております。  
(ときに時間変更される場合もありますので、各部代表まで連絡をお願いいたします。)

囲碁部 毎月第1・3・5(土)  
(川田信) pm 5:00～

## 浪速区医師会事務所 夏期休館日のお知らせ

夏期休館日 8月13日(月)～16日(木)



## あとがき

H.H

台風4号が足早に去り、予想していたより少ない被害で済んだと安心する間もなく、梅雨前線を伴った低気圧が北上してきて関西にも大量の雨をもたらした。和歌山、三重、滋賀、奈良、京都や兵庫県の各河川は2～3メートルの増水。映像で見ても赤濁り濁流。趣味の川釣りは早くても1週間は行けそうにない。巻頭言士が、幼少時に過ごされた古座川には、時折アユ釣りに行っていますが、昨日は2メートル増水しているとの連絡がありました。しかし増水による大きな被害はなかったようで、ひと安心。数年前の古座川流域の大洪水は、七川ダムの貯水量調節が間違っただけと聞いている。今回の豪雨では、過去の経験から失敗を繰り返さなかったと、喜んでいる。新聞を賑やかしている原子力発電問題は、ダムの貯水量調節くらいの簡単な問題ではないが、想定外という言葉は使わないよう、完全な保安に努めて欲しい。

浪速区医師会は4月に新法人になり、5月の総会で新しい定款と施行細則が決められた。

新法人では、医師会員に対する理事会の責務が重くなっている。この10年、医療制度が変わり徐々に医師の仕事量が増えている。

こんな忙しい日常の医療活動の中で、浪速区医師会の理事の先生方は寸暇を惜しんで医師会活動をしておられる。頭が下がる思いである。今年度はブルーカードを含む病診連携に加え、在宅療養支援をチームを組んで、診療所間の助け合いに取り組まれている。

今、医師会は巻頭言士のような若い活力を必要としています。理事は2～3年後にしても、色々な委員会がありますので、寸暇の一部を割いてご協力くだされば幸いです。



## 目次

### 巻頭言

はじめまして、福永クリニックの 福永真也です。 福永 真也	1
理事会報告（6月開催）	2
6月学術講演会報告 富永 良子	7
8月学術講演会お休みのお知らせ	9
浪速区医師会活動の伝言板	9
あとがき	10

### 【区医だより】

発行者 佐久間靖博  
編集者 中村泰久 橋村直隆  
印刷所 株式会社 サ ビ